



IFAT 2022 ファイナルレポート

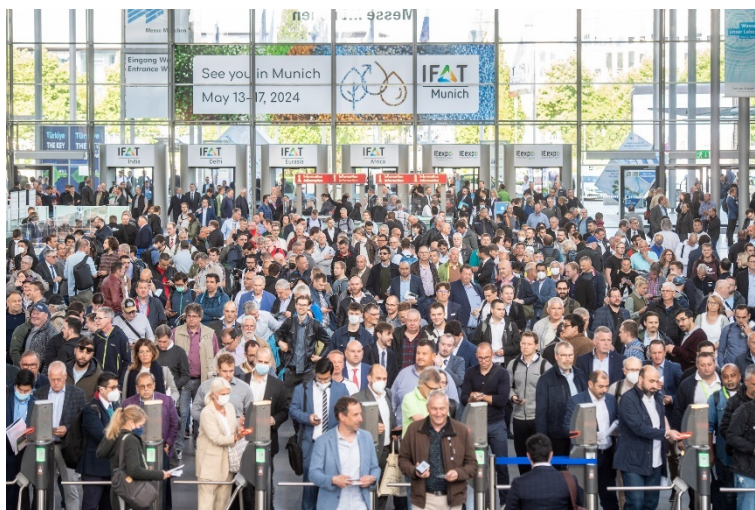
国際上下水処理・廃棄物処理・再資源化技術専門見本市
2022年5月30日～6月3日

2022年6月3日

IFAT 2022 気候保護促進に向けて力強い再開

Summary

- 世界最大級の環境関連技術国際見本市の再開に世界中が注目
- 出展者数 2,984 社、来場者数 119,000 人、この半数以上がドイツ国外から
- 主要トピックは、資源の効率的な使用と再利用



Facts & Data

会期	2022年5月30日(月)～6月3日(金) 9時～18時 ※最終日のみ16時まで
会場	メッセ・ミュンヘン
主催	メッセ・ミュンヘン (Messe München GmbH)
規模	260,000 m ² (2018年: 260,000 m ²)
出展企業	59ヶ国から 2,984 社 (2018年度: 58ヶ国から 3,305 社)
来場者総数	155ヶ国以上から 119,000 人 (2018年度: 162ヶ国から 142,472 人)
主な出展品	水抽出技術、上水・下水処理、配水・下水管、海岸保全、治水(洪水防止)、廃棄物処理、リサイクル、廃棄物発電、道路清掃・維持、冬期道路サービス、工場跡地汚染除去、土壌処理、排ガス洗浄、空気抽出技術、防音、測定・制御・ラボ技術、サービス、学術研究・リサーチ など
出展日本企業	アムコン(株)、井関農機(株)、(株)イワキ、(株)クボタ、コベルコ建機(株)、(株)小松製作所、(株)ソルエース、(株)鶴見製作所、(株)テクノ高槻、東レ(株)、(株)ニクニ、日東工器(株)、日立造船(株)、古河ロックドリル(株)、三菱重工(株)、三菱ケミカル(株)、メタウォーター(株) 他
専用URL	www.ifat.de (英語/ドイツ語)

プラスチックや建築資材、水など、種々の資源に対する持続可能な管理ソリューションが環境と気候の保護に不可欠である。水、下水、廃棄物、原材料管理に関する世界有数の国際見本市 IFAT 2022 が 2022 年 5 月 30 日から 6 月 3 日までドイツ・ミュンヘンで開催され、そのソリューションが会場に集められた。出展者 2,984 社と 119,000 人を超える来場者は、IFAT が環境技術における最も重要なビジネスプラットフォームであることを改めて確認した。

主催者メッセ・ミュンヘンのマネージング・ダイレクター、シュテファン・ルンメルは、「巨大な見本市、集中的な知識シェア、ネットワーキングなど、どの観点からも、IFAT 2022 は、産業全体と気候変動対応に取り組むコミュニティに対して、持続可能な社会実現への推進の契機となった。IFAT 2022 は、59 カ国から 2,984 の出展者と 155 カ国から 119,000 人の来場者を会場に集め、ほぼパンデミック前のレベルに回復させた。このことは、環境技術の大きな可能性を反映しており、IFAT が上下水処理、廃棄物、原材料管理の分野における世界有数の国際的ビジネスプラットフォームであることが業界に認められた証だと言える」と述べた。

IFAT アドバイザリーボード会長の Dr. Johannes F. Kirchhoff 氏は、「まだ難しい状況が続いている中で、世界各国からこれほど多くの関係者が集まったことにとっても感激している。IFAT は循環型経済と環境関連産業にとって持続可能な推進力であるため、IFAT が力強い再スタートを切ったことをとてもうれしく思う」と語った。



プラスチックから水まで: クローズドサイクルに焦点

今回、環境型経済の分野で最も多くの出展があり、これまで以上に注目を集めた。環境・自然保護・原子力安全・消費者保護大臣 Steffi Lemke 氏は、開会セレモニーで「適切に機能する環境型経済は、一次資源を節約し、その依存関係を低減し、気候と生物多様性の保護に大きく貢献する。私の政策は、循環型経済をそのサイクルのあらゆる段階で強化し、環境保護という魅力的なビジネスモデルを構築することだ」と強調した。



プラスチックや建設資材などの 4 つの特別な分野が循環型経済に特化して紹介された。水処理においても、例えば工業生産環境下や、深刻な干ばつや大雨に備えるための水管理が必要な都市環境における持続可能な使用とクローズドサイクルに焦点が当てられた。多くの企業から実現技術が紹介され、会議プログラムでは 300 人を超える専門家が知識を共有し、そのほかライブデモンストレーションやガイド付きのソリューションツアーなどが多数開催された。

主な数値実績

IFAT 2022 は、メッセ・ミュンヘン会場の 18 ホール全数と屋外エリアの大半を合わせた合計 260,000 m² を確保して開催された。59 の国と地域から 2,984 の出展者 (2018 年は 58 の国と地域から 3,305 社) が最新の製品や技術、ソリューションを紹介し、来場者は 155 カ国から 119,000 人 (2018 年は 162 カ国から 142,472 人) という結果であった。出展者、来場者の半数以上はドイツ国外からの参加であり、2018 年に多かった中国とロシアからはほとんど参加がなかったことが前回との大きな違いである。スタートアップ出展者用の特別エリアには 16 カ国から 49 社が出展した。また、日本、カナダ、韓国、アメリカ、ヨーロッパ諸国が開催する 15 の国別国際パビリオンへの出展も大きな注目を集めた。そして、エジプト、ベル

ギー、マレーシアからは各国政府派遣団、ブラジル、シンガポールからは環境大臣、そのほか多くの国の政府高官が当該イベントに参加した。

環境産業のための重要なプラットフォーム

REMONDIS 社の Max Köttgen 氏は、「IFAT は循環型経済の分野において非常に重要な地位に在り、今後もこの分野において世界をリードする見本市としての重要性を維持していく」と話した。また、Siemens 社の Anja Eimer 氏は、「見本市の規模、出展者数や来場者数、更に専門性の高さには大変満足している。今回、顧客やパートナーと直接多くの議論ができたことを非常にうれしく思う」と話した。ほかにも、出展者から IFAT について次のような感想が述べられている。

「IFAT は当社の製品やソリューションを紹介するに当たって、ほかに類を見ない優れた場だ」(HUBER 社 Georg Huber 氏)
「持続可能な製品やサービスの革新に基づいて業界の動向を反映する最も重要な見本市だ」(Bucher Municipal 社 Ottmar Steinbrunner 氏)
「地方自治体セクターにアピールできる国際見本市として、当社の多彩な産業用ソリューションを紹介する絶好の場だ」(Mercedes-Benz Special Trucks 社 Dr. Ralf Forcher 氏)



次回の IFAT は 2024 年 5 月 13 日から 17 日にかけて、ドイツ・ミュンヘンにて開催される。
詳細情報ならびに写真は、専用ホームページまで: www.ifat.de

資料請求、出展申込み、各種お問い合わせ先:

メッセ・ミュンヘン 日本代表部

株式会社メッセ・ミュンヘン・ジャパン

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-20-3 ノアーズアーク虎ノ門 5 階

Tel.: 03-6402-4583 Fax: 03-6402-4584 E-mail: info@messe-muenchen.jp

URL: www.messe-muenchen.jp (日本語) www.messe-muenchen.de (英語 / ドイツ語)